

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 20年 9月 25日 午後 7時 00分から午後 8時 30分まで
- 3 会 場 武石地域自治センター 2階会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、曲尾行雄委員、増子カオリ委員、松井幸夫委員、松代典之委員、依田せつ子委員、依田則俊委員 (欠席者2名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、高橋地域交通政策課長、山口市民生活課長、伊藤健康福祉課長、近藤産業観光課長、桜井建設課長、児玉教育事務所長、児玉地域政策担当係長、掛川主事
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 〇人 記者 〇人
- 8 会議概要作成年月日 20年 10月 1日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会 (広川課長)
- 2 会長あいさつ (桜井会長)
- 3 センター長あいさつ (宮下センター長)  
真田、武石地区自治会連合会から、都市計画についての請願が提出され、9月議会で審議されている。9月29日の最終議会で主旨採択される見込みと聞いている。
- 4 報告事項  
・公共交通活性化プランのアンケート結果について (都市建設部地域交通政策課)  
【説明要旨】  
平成 20年度上田市公共交通総合連携計画実施事業  
1) 平成 20年 10月 1日から、デマンド交通フリーエリア (予約で自由に乗れる範囲) を丸子腰越地区まで拡大。丸子地域循環バスの運行コースに入っていない腰越地区の交通手段が確保される。  
武石線の日中便は、デマンド交通へ移行するため廃止する。  
2) 上田駅、大屋駅にすべてのバス路線図と時刻表を表示する案内板を設置し、あわせて案内板と同様の情報をパンフレット形式のようにして各家庭に配布する。  
3) 基本サービスレベルを確保するため、長久保線 (上田～丸子～長和町) のダイヤ変更を行う。  
【質疑・意見】 特になし
- 5 協議事項  
・武石開発公社の経営状況と統合について (武石開発公社)  
【説明要旨】  
1) 武石開発公社の状況  
\* 上田市から指定管理を受けている施設 (平成 18年 3月 6日から平成 23年 3月 31日まで)  
… 雲溪荘、うつくしの湯、巢栗溪谷緑の広場、番所ヶ原スキー場、森林公園マレットゴルフ場  
… すべて経営は赤字で、市が補てんをしている。  
練馬区から指定管理を受けている施設 (平成 20年 4月 1日から平成 23年 3月 31日まで)  
… 練馬区立武石少年自然の家本館・新館  
\* 公益法人の改革法が平成 20年 12月 1日から全面適用され、5年以内に一般法人、公益法人、営

利法人へ切り替えを行う必要がある。

2) 指定管理者・利用料金制導入

- \* 指定管理・・・今まで特命受委託で行ってきた施設の管理などを、民間などにも開放し競争させる。
- \* 利用料金制・・・利用料金が受託者の収入となるため、サービス向上により収入増が期待できる。

3) 市内 4 公社の統合

- \* 合併協議により「合併後 5 年を目途に公社・事業団の整理・再編を目指す」となっている。(平成 23 年 4 月)
- \* 市内 4 公社(財)上田市地域振興事業団、(社)上田市丸子地域振興公社、(財)上田市真田の郷振興公社、(社)武石開発公社

4) 今度の課題と対応

- \* 赤字施設への一般財源(税金)の補てん
- \* 経営をよくしていくための職場・職員の意識改革
- \* 市民満足度、積極的誘客宣伝の強化
- \* 職員数 55 人(臨時職員含む)・・・武石地域の重要な雇用の場でもある

5) 今年度の各施設の経営状況

- \* どの施設も年々利用者は減少している。今年度から検討委員会を立ち上げ、毎月利用状況等を協議している。

【質疑・意見】

(委員)平成 23 年度以降も現状のままではいけないのか。

(センター長)市で管理をお願いしている施設は、次期もお願いすることになると思われる。

(委員)公社が統合した場合、武石開発公社にある剰余金はどうするのか。

(センター長)これからの課題である。公社としても検討しており、統合までには方針を出したいと思っている。

(委員)練馬区立武石少年自然の家の土地は、すべて練馬区のものなのか。

(公社事務局長)練馬区の土地は半分ほど。他は、市、大布施巣栗区、個人の土地である。

(委員)公社の食堂施設を利用したが、客が少ないのに注文品が出てくるのが遅く、味もよくなかった。悪いところは改良していかなければ客は来ない。一般企業への研修なども必要ではないか。

(委員)配属された職員により、その施設がまったく変わってしまうこともある。職員教育からやらなければいけないと思う。

(委員)雲溪荘はとてもいいお湯なので、大勢の方が利用できるよう露天風呂やエレベーターをつくってもらいたい。

(センター長)露天風呂、エレベーターは市でも考えているが、改修工事を行う前に耐震診断をやらなければいけない。耐震診断には約 2000 万円かかり、改修も難しい状況である。

(委員)温泉施設の共通利用券をつくったらどうか。

(産業観光課長)市内 4 つの日帰り温泉施設では、年間券、回数券が共通で使えるようになっている。

(委員)施設は入ったときの第一印象で決まる。それが観光施設にとっていちばん重要なことではないか。職員教育である程度変えられると思うので、早急に取り組むべきである。

(委員)商工会でも経営改善策として、経営コンサルタントに入ってもらっている。専門的な人を入れれば、成果が必ず表れる。そのための費用がかかっても実施するべきである。

6 その他

(会長)地域振興基金の活用案については、次回 10 月の地域協議会までに 2 部会で協議した結果を文章でまとめ提出していただき、議論できるようにしてほしい。このあと各部会に分かれ、協議をお願いしたい。

(委員)都市計画の話はどうなっているのか、進捗状況を教えていただきたい。

(センター長)都市計画については、マスタープランの策定を先行し進めてきたが、都市計画区域の設定と同時振興で検討することになった。区域の設定については、今後住民説明会などを開催し住民の理解を得ながら進められていく。

(委員)武石地域の住民はおそらく誰も納得しないだろう。もし、住民の反対があっても行政は都市計画について押し進めるつもりなのか。

(センター長)市は、住民理解を得て進めると言っている。

(委員)10月に行政・議会・自治会による三者懇談会があり、都市計画についても議題にあがっている。

## 7 閉会(小山副会長)

分科会での協議(地域振興部会、市民生活部会に分かれ、地域振興基金の活用について協議)

\* 会議概要は原則として公開します。

\* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。